



山梨県知事 横内正明

平成25年度当初予算

「暮らしやすさ日本一」の県づくりに向けて

「暮らしやすさ日本一」の山梨づくりに向けて、まず、当面速やかに取り組むべき課題への対応としまして、現下の県内景気や雇用情勢を踏まえ、国の緊急経済対策に呼応した施策を早急に実施します。このため、昨年度2月補正予算と本年度当初予算に、合わせて450億円を超える事業費を計上したところであり、県内景気の回復に向け、迅速に対応してまいります。

併せて、県民の命や暮らしを守るため、東日本大震災を契機に策定しました「第二次やまなし防災アクションプラン」に基づき、防災・減災対策を重点的に実施するとともに、本年度は、国民文化祭の開催や富士山世界文化遺産登録の可否決定など、全国からの注目が本県に一段と集まる年となりますので、これを本県の飛躍の機会とするよう全県挙げて取り組みを進めます。

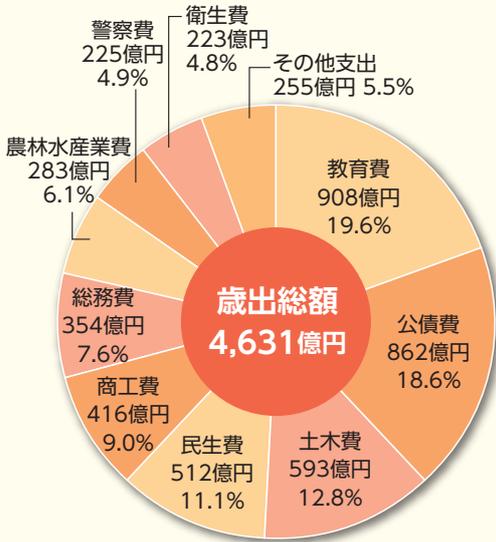
また、リーマンショック以降の産業構造の大きな変化や、少子高齢

化に伴い人口が減少に転じたことなど、本県は大きな時代の転換期にあります。このような中で、本県の経済・社会の活力を維持していくため、昨年掲げた「新産業の創出」「定住人口の確保」「甲府市中心部の再整備」の三つの課題について、本年度も引き続き特に力を入れて取り組んでまいります。

さらに、県議会からご提言をいただいた鳥獣被害対策、子育て支援を社会全体で取り組む体制の整備、障害者支援等の地域福祉の推進などについても積極的に取り組んでまいります。

これからも、県民の皆さま誰もが真の豊かさを実感できる山梨の実現に向けて、渾身の努力をしてまいりますので、引き続き、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

歳出



県の防災拠点となる防災新館



燃料電池自動車の普及促進



「やまなし暮らし支援センター」を開設する有楽町・東京交通会館



甲府駅南口駅前広場(完成後イメージ)

本県の財政状況

- 歳入面では、法人二税などが落ち込み、実質県税総額※1は、42億円(4.4%)減少※2して927億円となる見込みです。
- また、地方交付税(1,305億円)と臨時財政対策債※3(325億円)を合わせた実質交付税は、1,630億円となり、33億円(2.0%)の減少を見込んでおり、一般財源の総額としては、84億円(2.9%)の減少となる見込みです。
- 一方、歳出面では、社会保障関係費や公債費など、義務的経費の増加が避けられないことに加え、県庁舎耐震化等整備のほか、消防学校の整備や県立学校の改築整備など、必要不可欠な大規模事業の実施に所要の財源を確保する必要があります。
- このため、平成25年度の予算編成に当たっては、歳出全般にわたって徹底的な見直しを図るとともに、将来にわたって持続可能な財政運営を確保するため、公共事業等の段階的縮減や県単補助金の見直しなど、行動計画に基づく行財政改革に引き続き取り組み、さらに、退職手当の支給水準の段階的な引き下げの対象を一般職から特別職にも拡大することとした上で、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めました。

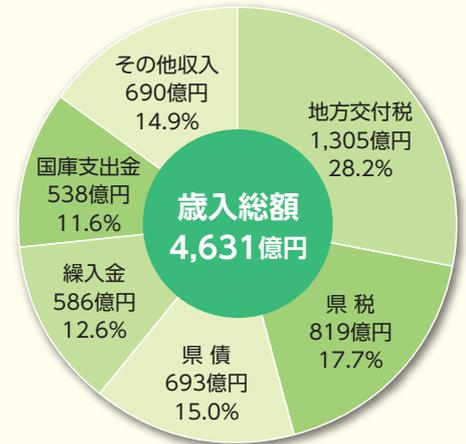
※1 実質県税総額……県税総額と地方法人特別譲与税を合わせたもの

※2 増減の比較は、特に表記のない限り、平成24年度当初予算額との比較

※3 臨時財政対策債……本来、地方交付税として配分すべきところ、交付税原資などが不足した場合に、地方公共団体がその分を立て替えて発行する、実質的には地方交付税である県債(後年度、元利償還金の全額が、地方交付税で措置される)

平成25年度 当初予算額

歳入



当面速やかに取り組むべき課題

経済再生を図るための経済対策や防災・減災対策、さらには、本県が本年度、全国から注目を集めるイベントなどに対して、速やかに取り組みを進めます。

I 国の補正予算の活用による経済再生

国に呼応した経済対策の取り組み

- 平成24年度2月補正への公共事業費などの追加計上(345億3,667万円)
- 緊急雇用創出事業による雇用機会の創出、新卒未就職者や離職者への就業支援(31億9,887万円) など

II 防災・減災対策

「第二次やまなし防災アクションプラン」に基づく施策を重点的に実施

- 防災アドバイザーの市町村への派遣(65万円)
- 富士北麓公園への防災行政無線の増設(1億6,002万円)
- 防災拠点機能を備えた防災新館の整備(41億8,321万円)
- 消防学校の整備(14億2,246万円) など

III 国民文化祭および富士山世界文化遺産登録

本県が本年、全国から注目を集めるイベントへの対応

- 富士の国やまなし国文祭の通年開催(6億5,259万円)
- エンジン01文化戦略会議オープンカレッジの開催(2,000万円)
- 全国障害者芸術・文化祭の開催(3,600万円)
- 富士山の世界文化遺産登録の推進、登録後の保存活用やイベントの開催、誘客促進(7,488万円) など

時代の転換期 力を入れるべき三つの課題

産業構造の大きな変化や、少子高齢化に伴い人口が減少に転じる中、本県の経済・社会の活力を維持していくための取り組みを強力に推進します。

I 新産業の創出

- 産業政策アドバイザーの訪問指導などにより下請け依存型経営からの脱却を目指す中小企業を支援する経営塾の開催(110万円)
- 燃料電池関連産業の製品化に向けた研究開発などへの支援や展示会などによる燃料電池自動車の普及促進(6,032万円)
- 海外展示会への出展などに対する支援(750万円)
- ジェトロ山梨貿易情報センターの開設(1,000万円) など

II 定住人口の確保

- 二地域居住や移住、U・Iターン情報をワンストップで提供する「やまなし暮らし支援センター」の開設(2,254万円)
- 同センターと連携する市町村の受入体制充実への支援(121万円)
- 大学卒業予定者等向けの就職ガイダンスの開催(150万円)
- 地域産業界と工業系高校が連携した専門的職業人の育成(430万円) など

III 甲府市中心部の再整備

- 県都の玄関口である甲府駅南口周辺地域の再整備(5億2,500万円)
- 本年秋にオープンする防災新館1階「やまなしプラザ」に設置する山梨ジュエリーミュージアム、まるごとやまなし館、オープンカフェなどによる活気やにぎわいの創出 など

4 「交いの国」チャレンジ

●リニア駅周辺整備基本方針策定事業費……………1,629万円

本県の新たな玄関口となるリニア駅周辺の土地利用や基盤整備などの基本的な指針となるリニア駅周辺整備基本方針を策定します。

●リニア見学センターリニューアル事業費……………9億8,881万円

山梨リニア実験線での走行試験再開に向け、平成26年度早々のリニューアルオープンを目指して、子どもから大人まで楽しく学べる空間として再整備を行います。



世界最速記録を出したリニア車両を展示(イメージ)

5 「生涯あんしん地域」チャレンジ

●セミ・オープンシステム導入事業費……………4,200万円

分娩取扱医療機関がない地域の妊婦の負担軽減を図るため、健診を身近な医療機関で行うセミ・オープンシステムの導入を図ります。

●やまなし子育て応援カード事業費……………504万円

企業の協賛により料金割引などの特典が受けられる子育て世帯の対象を、18歳未満の子どもが3人以上いる世帯から、1人以上または妊婦のいる世帯に拡大します。

●富士・東部口腔保健センター運営事業費……………456万円

都留市立病院敷地内にセンターを開設し、休日の歯科診療や心身障害児(者)の歯科診療などを行います。

●富士・東部地域小児リハビリテーション推進事業費……………1,411万円

富士・東部地域における小児リハビリテーションの充実を図るため、富士ふれあいの村敷地内に診療所を整備します。

●難聴児補聴器購入事業費補助金……………200万円

軽度・中等度難聴児の健全な育成を図るため、補聴器の購入を支援する事業に対し助成します。

●ゲノム解析・研究事業費補助金……………2,000万円

質の高いがん医療を提供するため、ゲノム解析センターにおけるがん患者の遺伝情報の解析などに対し助成します。



小児リハビリテーション



最新のゲノム解析装置
(県立中央病院)



6 「未来を拓く人づくり」チャレンジ

●いじめ・不登校対策事業費……………2億2,082万円

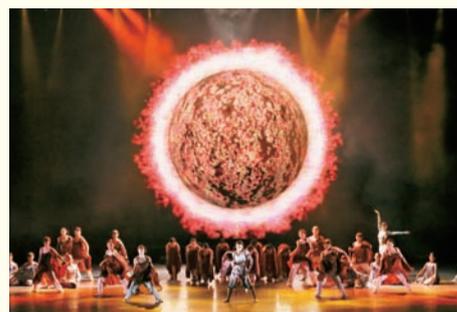
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用などにより、児童・生徒への支援の充実を図ります。

●国民文化祭費……………6億5,259万円

本県の文化力の向上とイメージアップを図るため、全国初の通年開催となる国民文化祭を開催します。

●ヴァンフォーレ甲府練習環境整備費補助金……………2,000万円

本県の経済活性化およびイメージアップを図るとともに、県民の見るスポーツを振興するため、ヴァンフォーレ甲府の練習環境整備に対し助成します。



富士の国やまなし国文祭(会期:1月12日～11月10日)

7 「改革続行」チャレンジ

●環境整備事業団経営支援補助金……………4億1,600万円

環境整備事業団の財務基盤の安定を図るため、産業廃棄物最終処分場事業の損失処理に対し助成します。

●林業公社造林事業費……………5億559万円

林業公社の廃止に向け、債務抑制と分収林の適切な管理を図るため、土地所有者との契約変更協議と公社運営を支援します。

●若彦トンネル湧水活用調査費……………498万円

若彦トンネルからの湧水をミネラルウォーターとして活用するため、水質調査などを実施します。



湧水をミネラルウォーターに活用

平成25年度当初予算の主要事業

1 「元気産業創出」チャレンジ

- **地場産業市場獲得支援事業費**……………1,696万円
本県地場産業の国内外での市場獲得を支援するため、企業の販売力やデザイン力の強化に向けた取り組みを行います。
- **甲州ワイン海外プロモーション支援事業費補助金**……………580万円
県産ワインのブランド確立を図るため、EU諸国でのプロモーション活動に対し助成します。
- **ジュエリーミュージアム事業費**……………2億2,063万円
本県のジュエリーの情報発信とにぎわいの創出のため、9月28日、防災新館1階に山梨ジュエリーミュージアムを開館します。
- **ジェットロ山梨貿易情報センター負担金**……………1,000万円
本県工業製品や農産物などの海外への販路拡大を促進するため、ジェットロ山梨貿易情報センターの運営費の一部を負担します。
- **ブドウ簡易雨よけ施設設置事業費補助金**……………2,409万円
ブドウの生産の安定化と品質向上を図るため、簡易雨よけ施設の設置に対し助成します。
- **就農定着支援制度推進事業費**……………5,281万円
果樹農業などの新規就農者の確保・定着を図るため、技術指導や生活支援を行います。
- **緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費**……………31億9,887万円
離職を余儀なくされた方に対し、就業機会の創出を図るため、直接雇用や民間への委託事業などを実施します。



山梨ジュエリーミュージアム・展示室(イメージ)



ブドウ簡易雨よけ

2 「環境先進地域」チャレンジ

- **エネルギー地産地消推進事業費**……………341万円
地域の特性を生かしたクリーンエネルギーの導入を促進するため、太陽光発電設備に関する情報の提供や相談窓口の設置などを行います。
- **小水力発電推進事業費**……………1億6,100万円
モデル施設として大城川発電所(仮称)の建設に着手するほか、今後10年間で新たに10カ所程度の新規開発を目指す「やまなし小水力ファスト10」をスタートさせます。
- **森林環境保全基金事業費**……………5億2,031万円
森林を保全して次の世代に引き継ぐとともに、地球温暖化防止の取り組みを一層推進することの重要性に鑑み、森林および環境の保全に関する事業を実施します。
- **特定鳥獣適正管理費**……………1億1,943万円
保護管理計画に基づき、特定鳥獣の適正な管理を行います。
- **クニマス展示施設調査事業費**……………146万円
クニマスの保全による地域振興を図るため、クニマスの展示施設の整備に向けた調査を行います。
- **富士山世界文化遺産保存活用推進事業費**……………4,492万円
富士山の適切な保存管理を行うとともに、来訪者に対し顕著な普遍的価値を伝えます。



深城ダムの放流水を利用した小水力発電



クニマスの稚魚

3 「ウェルカム、おもてなし」チャレンジ

- **特別観光キャンペーン事業費**……………2,100万円
富士の国やまなし国文祭の開催などを好機に本県のイメージアップを図り、観光客の積極的な誘致を推進します。
- **国際観光トップセールス事業費**……………792万円
海外からの誘客促進を図るため、韓国、インドネシアにおいて行政関係者、旅行会社、メディアなどへのトップセールスを行います。
- **おもてなし森林景観創出事業費**……………1,106万円
登山者、旅行者などに親まれる、森林からの美しい景観を創出するため、眺望地点における森林整備などを行います。



韓国・ソウル市で山梨の魅力をトップセールス